

第2期SDGs未来都市計画 2024-2026

2030年の上士幌町は、 どんなまちに なっているでしょうか？

かみしほろのSDGs



上士幌町のこれまでの主な取組

かみしほろシェアOFFICE



テレワークや二拠点居住、ワーケーションといった、多様な働き方の推進が加速
都市部企業の受け入れなど、関係人口の創出を目指す受け皿の一つとして開設



- ・Wi-fiが使える作業スペースや会議室、個室ブースを完備
- ・「都会と田舎をシェアする」がコンセプト
⇒ 利用者同士や都市部企業、町内事業者の交流を促し、町内の新たなビジネススタートを後押し



MaaSプロジェクト

自動運転やデマンド化、貨客混載等により
利便性向上を図るとともに、CO2を削減！

MaaS(マース)とは…

自動運転・AIなどのテクノロジーで
交通サービスを便利にする取組

- ・2017年10月に北海道初となる自動運転バスの公道走行実証を皮切りに、2021年12月の公道における冬季走行実証を経て、2022年12月から自動運転レベル4の社会実装に向け、事業性・技術面・社会需要面の課題解決に向けて地元交通事業者と連携して自動運転バスの定期運行を実施。
- ・福祉バスのデマンド化（予約があったときのみ運行）や空き時間を活用した配送サービス、貨客混載など、地域の足確保と新輸送サービスの確立に向けた取組を展開。



ドローンの活用



ドローンを活用した人手不足の解消と脱炭素化による地域内物流の最適化
陸送と空送をミックスさせた物流の最適化を目指す

2021年10月 個人宅へ買物代行配送(日本初)→

- ・脱炭素と利便性を両立した、持続可能な地域交通の確保と住みやすい環境づくりに向けて、連携して取組を進めていく。



牛の受精卵配送（世界初）



新聞の本格配送（道内初）



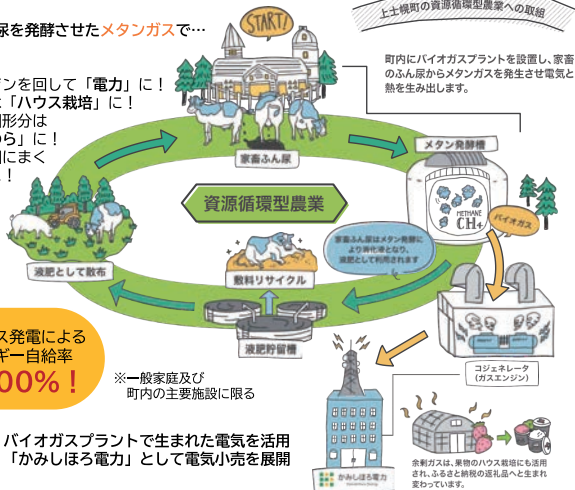
資源循環型農業とバイオガス発電の地産地消

酪農・畜産業が盛んな上土幌町
産業拡大 ⇒ 増頭・増産 ⇒ ふん尿の処理が課題に
地域内で完結する資源循環型農業を推進！



・家畜ふん尿を発酵させた**メタンガス**で…

- ⇒ ガスエンジンを回して「電力」に！
- ⇒ 余剰ガスは「ハウス栽培」に！
- ⇒ 発酵後の固形分は「牛の寝わら」に！
- ⇒ 液体分は畑にまく「液肥」に！



生ごみ処理機などの購入補助

家庭で生ごみの減量化に取り組む町民への支援として各種補助を実施！



電動生ごみ処理機

【住民税の課税世帯】
補助率 4/5
【住宅税の非課税世帯】
自己負担額 15,000円



生ごみ堆肥化容器 (コンポスター)

【住民税の課税・非課税世帯とも】
補助率 4/5



町内小学校にもコンポスター設置！

これからの取組は？

上土幌町がめざす「2030年のあるべき姿」はこちらから

地域の実態



★酪農・畜産、畑作などの農業を基幹産業とする農村地域

★家畜ふん尿を活用した「資源循環型農業」と、そこから生み出されるクリーンなエネルギー（電力）を、上士幌町内で地産地消するしくみを確立

「資源循環型農業」とは？

これまで活用されていなかった廃棄物などを再利用しつつ、資源循環していく農業。本町では「家畜ふん尿」を用い、電力を作りつつ、残ったものは、牛の寝わらや、畑にまく肥料として利活用している。

★これまでの「地方創生」における積極的な取組と、まちづくり会社・地域商社の設立によるさらなる取組の推進

「地方創生」とは？

少子高齢化への対応や人口集中の是正など、各地域がそれぞれの特徴を生かして、自立的で持続的な社会を目指すことで、日本全体の活力を上げていく施策。

★これまでのSDGsを軸とした、本町のさまざまな取組に対し評価

2020年「第8回プラチナ大賞優秀賞」・「第4回ジャパンSDGsアワード」を受賞
2021年「SDGs未来都市」・2022年「第1回脱炭素先行地域」に選定



今後取り組む課題

ゼロカーボン上士幌の実現とスマートタウンの構築

地方が持つ弱点を、通信技術・デジタル技術のフル活用で克服していく一方で町内のいち早い脱炭素（ゼロカーボン）実現に向けて注力していきます

「ゼロカーボン」とは？

温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにしていくこと。



「スマートタウン」とは？

次世代高度技術を活用して、町の課題の解決や、新たな価値や魅力を創造し、人々の生活の利便性や質を高めるまちづくり。



町民が「自分ごと」として取り組む環境の整備

「だれもが生涯活躍できるまち」の理念のもと、住民の皆さん一人一人が自ら考えて行動する仕掛けづくりと、「世代間交流」や「コミュニケーション」を生み出します

上士幌町がめざす

2030年のあるべき姿



人類生存の基盤となる食料とエネルギーが自給されるまち



環境と調和したビジネス展開で強靱な地域・経済が実現するまち



だれもが生涯活躍のまちづくりによりQOL(生活の質)向上が実現するまち



関係人口の創出・拡大による人材還流と新たな価値が生み出されるまち



スマートタウンの構築が地域内外の幸せを後押しするまち



2030年のあるべき姿に向けた 優先的なゴール・ターゲット

具体的に、以下のような目標の達成を目指して
取組を進めていきます！

統合面



各種取組によって、まちの価値や魅力・将来性を高め、**町内人口を維持**します

移住や企業、投資をさらに呼び込み、持続可能なまちの実現のために必要な、**一定の人口規模や若年層人口の維持**を目指します



社会面



地域社会の維持には、住民みなさんが**地域課題を「自分ごと」として**捉えて行動していく必要があります

SDGsや脱炭素にかかる機運醸成、コミュニティの活発化を図るため、**新たに開始する町民参加型の各種取組について、一定人数の参加**を目指します

【新たに開始する取組】

- ・SDGsポイント制度
- ・SDGs・ゼロカーボンマスター制度
- ・「かみしほろコミュニティサークル」

経済面



地域経済活性化のためには雇用創出が不可欠であり、**本町の経済活動に興味関心を持つ方を増や**します

地域外貨(町外からの資金)の獲得として、道の駅などの**観光施設における売り上げの増加**を目指します



環境面



脱炭素実現への取組として、町内の**再生可能エネルギー普及・推進に注力**します

家畜ふん尿由来の電力小売による再生可能エネルギーの**地産地消と、再エネ・省エネ普及**を目指します



今後3か年(2026年まで)の先導的取組

「マイクログリッド」とは？
地域でエネルギー供給源を持ち地産地消を目指す、小規模なエネルギーネットワークのこと

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



人類生存の基盤となる食料と
エネルギーが自給されるまち

脱炭素の基盤づくり(マイクログリッド等)

再生可能エネルギーの地産地消

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



環境と調和したビジネス展開で
強靱な地域・経済が実現するまち

SDGsと連動した取組

SDGs観光振興・商品開発

8 働きがいも
経済成長も



だれもが生涯活躍のまちづくりにより
QOL向上が実現するまち

地域コミュニティの醸成

まちづくり会社との連携

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



関係人口の創出・拡大による人材還流と
新たな価値が生み出されるまち

様々な形のワーケーション
の受け入れ

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



スマートタウンの構築が地域内外の
後押しするまち

域内のDX(デジタル変革)の推進

かみしほろルールOS

かみしほろスマートPASSの構築

情報発信

①域内(町内)向け

- ・SDGs出前授業(小学校など)
- ・ESD(持続可能な開発のための教育)推進
- ・役場職員に向けたSDGs啓発 ・講習会やフォーラム開催

②域外(国内)向け

- ・様々な媒体での発信
- ・積極的な視察受け入れ&講演対応
- ・関係団体との連携や協働

③海外向け

- ・国際フォーラム等での世界へ向けた講演対応



「かみしほろルールOS」とは？
本町における様々なサービスを次世代高度技術でつなく、オープンなデータ連携の基盤
「かみしほろスマートパス」とは？
本町内の各サービスを利用者がより簡単に、便利に利用できる、顔認証やマイナンバーカードなどを活用した個人認証システム



SDGsってなに？

「誰一人取り残さず」に、すべての人類がこの地球で暮らし続けていくため全世界において**2030年までに達成すべき目標**を定めたものです



上士幌町ではSDGs達成に向けてどんな計画を立てているの？



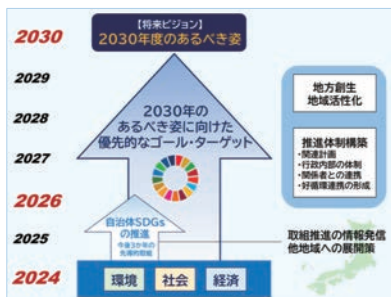
上士幌町は、SDGs達成に向け、優れた取組を提案した自治体として、**2021年に内閣府の「SDGs未来都市」に選定**されています。

SDGs未来都市に選定された自治体はこの先3か年の取組を具体化した「**SDGs未来都市計画**」を策定。このパンフレットでは、計画の中で目指しているものと、そのための取組についてご紹介します。

計画の構成について

上士幌町の特徴や、今後取り組むべき課題を踏まえつつ、SDGsの最終年である**2030年の「上士幌町のあるべき姿(将来像)」**を記載。

実現に向けた優先的なSDGsのゴール・ターゲットや今後3年間に先導的に進めていく取組、推進体制などを盛り込んでいます。



発行・お問い合わせ

上士幌町役場 ゼロカーボン推進課 〒080-1492 北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線238番地
電話 01564-7-7255 (ホームページ) <https://www.kamishihoro.jp/sp/sdgs/00000347>